



発行月

2022年(令和4年)10月

〒934-0053 射水市朴木20

TEL 0766-82-8100

<http://hosp.city.imizu.toyama.jp>



射水市民病院では、射水市で診療に携わっている先生方との日々の医療連携を強化し、地域住民の安心と健康の増進のために努力しています。新型コロナウイルスの影響により、思うように病診連携の会を開催できておりませんので、今回は、「新しく導入した白内障手術装置」「摂食嚥下チームの立ち上げ」「外来診療案内」「各種お知らせ事項」についてご紹介いたします。

新しい白内障手術装置が導入されました！

眼科部長 舘野 静佳

令和4年3月、当院において最新の白内障手術装置が導入されました。

メーカーの諸事情により従来の機器が使用出来なくなるため更新することになりました。

白内障手術は、完成された術式になり久しいですが、白内障手術器機も更なる進化を遂げています。従来の白内障手術装置には無い新しい技術が導入されている器械であり、これにより更なる安全性向上、優れた効率性の実現が可能になります。下記に他白内障手術装置には無い特長を記載させていただきます。

特長 *Active Fluidics*

眼内の前房安定性が増し、通常症例から難症例まで幅広い症例に対応出来るため患者さんのみならず術者としてもストレスのより少ない手術が可能となります。



グラビティ灌流システム
ボトル高を利用してIOPを調整

従来タイプ



Active Fluidics™テクノロジー
ビーエスエスプラス®バッグを2枚の板で挟み加圧、
調整し術者の望むIOPを維持

新型タイプ

特長 *ACTIVE SENTRY*

超音波ハンドピース超音波ハンドピースに灌流センサーを内蔵した唯一の機能であり、切開創からの水漏れ感知、患眼の高さの自動的認識を行うことができ、眼内の安全性が更に高まります。

フルイデックス構成図



1. 灌流圧センサー
前房眼内圧の変動を検知
2. ACTIVE SENTRY®ハンドピース
安定した眼内圧を維持するために調整が必要な場合、瞬時に本体へ信号を送信
3. Active Fluidics™テクノロジー
BSS® バッグを2枚の板で挟み込み加圧、調整し眼内圧の変化を補正
4. QuickValve™テクノロジー
バルブを瞬時に開放し灌流を吸引ラインに放出

特長 *INTREPID Balanced Tip & Ozil機能*

従来の水晶体を乳化吸引処理する超音波は縦発振のみでした。

本装置は、従来の縦発振超音波はもちろん、横発振超音波機能が追加されました。この事により水晶体への破砕能力が大幅に高まり、通常症例からハイグレード核の症例まで対応ストレスを極力感じる事なく手術を実施する事ができます。

当院での摂食嚥下チームの立ち上げ

耳鼻咽喉科医師 山本 憲（やまもと けん）

【役職】 部長

【専門】 ・耳鼻咽喉科一般
・めまい平衡・頭頸部外科

【資格・学会】 ・日本耳鼻咽喉科学会専門医 ・医学博士
・日本気管食道科学会専門医 ・めまい相談医
・日本体育協会公認スポーツドクター
・日本医師会認定産業医



昔は、食べられなくなったら寿命だと言われたこともありましたが点滴治療によって水分糖質の補給ができるようになりました。

その後1970年代からは、外科での消化管手術後に末梢より心臓に近い太い静脈にカテーテルを留置する中心静脈栄養が行われるようになり、蛋白質、脂質による栄養補給もできるようになりました。

さらに、1980年代からは、直接胃に瘻孔を作製する胃瘻などによる経腸栄養が行われるようになりました。

しかし、細菌感染、下痢などのトラブルも多く、医師以外の医療関係者にも栄養療法の重要性を理解してもらうため、2004年に栄養サポートチーム(NST)による患者さんに対して質の高い栄養管理が行われるようになりました。NSTの構成メンバーは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師などから成り立っています。

当院もNST稼働施設に認定されています。2006年頃から外科手術の術後管理だけでなく病院給食を起点にする摂食嚥下リハビリテーションも栄養療法として治療食は薬と同じという認識も広がり、栄養管理として認められました。

2020年代になり高齢化社会において、70歳以上の約3割に誤嚥を認め日本人の死因の5位に肺炎、6位に誤嚥性肺炎と増えてきています。

人間は加齢により心身の能力が低下し、サルコペニア（筋肉量が減少したり低下したりすること）、フレイル（加齢に伴う予備能力の低下のためにストレスに対する回復力が低下した状態）、他にロコモティブシンドローム（骨、関節、筋肉、神経など運動するために必要な体の仕組みの障害のために移動能力の低下をきたした状態）、生活習慣病、癌、心疾患、脳血管障害、慢性呼吸器疾患、認知症など多数の疾患にかかり寝たきり状態で自立した生活が困難になります。

こうした状態に陥らないように嚥下機能を正しく評価し、食形態の変更やリハビリテーションが必要であり、令和4年7月、当院において、低栄養状態、嚥下困難な人に嚥下機能回復リハビリテーション、嚥下しやすい食形態の指導を行い栄養状態の改善、誤嚥性肺炎の再発予防を行うチームが発足しました。

今後、チーム発足により、今まで以上に十分な栄養治療、栄養管理に取り組んでいきます。

外来診療案内

● 射水市民病院 ●

令和4年10月1日～

区 分			月	火	水	木	金	
内 科 循環器内科	午 前	受付 8:15～11:30 診察 8:45～	A1(初・再)	山谷	堀幹	能登	原田	高川
			A2	-	清水	西水	堀幹	堀宏
			A3	堀幹	中條	木戸	猪又 (呼吸器)	山谷
			A5	村井	-	山谷	-	今西 (呼吸器)
			A10	高川	能登	原田	高川	能登
			A11	原田	中川 (禁煙外来)	-	能登	田尻
	午 後	受付 12:45～16:00 診察 13:30～	午後の診察はご予約の患者さんのみとなります。					
			A5	林 (神経内科)	-	清水	道具 (神経内科)	-
			A10	-	-	高川	-	原田
外 科	午 前	受付 8:15～11:30 診察 8:45～	B8	島多(乳腺) 要予約	島多(乳腺) 要予約	-	島多(乳腺) 要予約	手 術
			B11	大村	太田	土屋	大村	
			B12	-	-	太田	-	
			心臓血管外科 B12	-	深原 (第1・第3週)	-	-	
			形成外科 B8	-	-	佐武 (第3週)	-	
	午 後	受付 12:45～16:00 診察 13:30～	B11	-	-	-	-	太田
			DHセンター外来 B12	-	-	-	-	土屋 要予約
			DHセンター: 鼠径(そけい)部ヘルニア(脱腸=D)・日帰り手術(=H)センター					
整形外科	午 前	受付 8:15～11:30 診察 8:45～	C1・C2	毛利	三上	毛利	毛利	三上
			C3・C5	南保	南保	三上	南保	南保
脳神経外科	午 前	受付 8:15～11:30 診察 8:45～	B13	増田	増田	増田	増田	増田
	午 後	受付 12:45～15:30 診察 14:00～		-	富田(黒田)	-	-	-
小 児 科	午 前	受付 8:15～11:30 診察 8:45～	長森		長森	長森	長森	釣
			受付		-	12:45～15:30	12:45～15:30	12:45～14:30
	午 後	予防接種 乳児健診	-		14:00～ 要予約	14:00～ 要予約	14:00～ 要予約	14:00～ 要予約
			診察	受付	12:45～16:00	-	12:45～16:00	15:00～16:00
泌尿器科	午 前	受付 8:15～11:30 予約が無い場合は、8:15～11:00 診察 8:45～	萩中	萩中	萩中	萩中	萩中	
	午 後	受付 12:45～16:00 診察 13:30～(木)14:00～	萩中	萩中	-	富山大学から	萩中	
皮膚科	午 前	受付 8:15～11:30 診察 9:00～	片岡	-	寺田	北山	大嶋	
婦人科	午 前	受付 8:15～11:00(水)8:15～10:30 診察 9:00～	米澤	米澤	米澤	米澤	米澤	
女性専門外来	午 後	受付 12:45～16:00 診察 14:00～	-	米澤 要予約	-	-	-	
眼 科	午 前	受付 8:15～11:30(水)8:15～10:30 診察 8:45～	舘野	舘野	舘野	舘野	舘野	
	午 後	受付 12:45～16:00 検査 14:00～	舘野 要予約 (検査、処置)	舘野 要予約 (検査、処置)	-	舘野 要予約 (検査、処置)	舘野 要予約 (検査、処置)	
耳鼻咽喉科	午 前	受付 8:15～10:00 診察 8:30～	山本	山本	加藤	山本	山本	
	午 後	受付 12:45～14:30 診察 14:30～	山本	-	山本	補聴器外来	-	
歯科口腔外科 (完全予約制)	午 前	受付 8:15～11:30 診察 8:45～	高櫻 要予約	高櫻 要予約	高櫻 要予約	高櫻 要予約	高櫻 要予約	
			-	-	-	-	大井 要予約	
	午 後	受付 12:45～16:00 診察 14:00～	高櫻 要予約	高櫻 要予約	高櫻 要予約	高櫻 要予約	高櫻 要予約	
			-	-	-	-	大井 要予約	
麻酔科	午 後	術前診察のみ	竹林	竹林	-	竹林	竹林	

医師の都合により休診となる場合がありますので、事前に電話での確認をお願いいたします。 TEL(0766)82-8100

令和4年10月1日現在の内容を記載しています。最新版は、射水市民病院ホームページでご確認いただけます。



地域連携室

地域連携室は市民病院と他病院や診療所のかかりつけ医との橋渡しをしています。病院や診療所との連携を密にして、どの地域の患者さんも安心して切れ目のない医療を受けられるよう活動しています。診療所からの、1) CTやMRI などの高度医療機器による検査、2) 専門医による診断・治療、3) 手術や入院治療などの紹介やセカンドオピニオンにも迅速に対応しています。また診療所への紹介も積極的に行っております。

地域連携に関するご質問がありましたら、地域連携室(TEL:0766-82-8136)までご連絡ください。

新任ドクター紹介



竹本 直起 (たけもと なおき)

令和4年10月赴任

【専門】 整形外科一般
【資格・学会】 ・日本整形外科学会
【趣味・好きなもの等】

【コメント】

お知らせ

射水市民病院 地域連携室

1 外来診療科 休診及び変更のお知らせ

- <耳鼻咽喉科> 11月2日(水)・16日(水) 午後休診
11月4日(金)・17日(木)・18日(金) 1日休診
12月16日(金) 1日休診
- <眼科> 11月10日(木) 午後休診
- <歯科口腔外科> 11月日() 1日休診

2 外科外来のお知らせ

- ・DHセンター(鼠径部ヘルニア日帰りセンター)の診療が、令和4年9月より金曜日の午前から午後に変更となりました。
要予約(外科 土屋医師)
- その他、急な都合で外来診療医が不在となることもありますので地域連携室(TEL 82-8136)にお問い合わせください。
- お問い合わせ・ご質問・予約などございましたら下記までご連絡ください。
<予約> TEL 0766-(82)-8100 (内線 1184)、FAX(82)-8764
<直通> TEL 0766-(82)-8136 (事務担当 明野)

理念

生命を尊重し患者一人ひとりに最適な医療を提供する

基本方針

【患者個人の尊

- 1 患者の最も利益になる医療を実践する
- 2 常に患者とともにある医療を実践する
- 3 十分な説明と同意に基づく透明性の高い医療を実践する

【最適な医療】

- 1 科学的根拠に基づく個別医療を実践する
- 2 安心と希望を与える医療を実践する
- 3 医療の安全管理に最善の努力をする
- 4 よりよい医療への高い理想を持ち精進を怠らない

【地域への貢献】

- 1 地域の医療・福祉・保健機関と相互協力する
- 2 職員が誇りと夢を持てる病院にする
- 3 健全で特徴ある病院運営に努力する

展望

- 1 地域住民から最も信頼され親しまれる病院になる
- 2 創意工夫とチームワークにより特色ある医療を展開し常に進歩する病院になる